



～乗務員研修会および救急救命講習会開催のご報告～

この度、体調・体温確認、アルコール消毒、換気などのコロナウィルス対策を徹底したうえで、郡山消防署の消防士4名を講師にお招きし、乗務員研修会および救急救命講習会を実施致しましたので、その様子をご紹介させていただきます。緊急時は平常時に比べて、思うような行動が取れなくなります。心と体の備えが重要です。参考にして頂ければ幸いです。

救急救命（心肺蘇生）

（倒れている人を確認したら）

- ①意識（反応）があるか確認。
- ②意識が無い場合は周囲に応援を要請し、119番通報とAEDの調達を依頼。
（大きな声で要請！周囲に協力者がいない場合は自分で直ちに119番通報しましょう）
- ③呼吸が無い場合は直ちに心肺蘇生を開始。
胸骨圧迫（胸部が約5cm沈む位）30回と人工呼吸2回を1セットに救急隊が到着するまで実施する。（協力者がAEDを調達出来たら、電気ショックを開始する）
※胸骨圧迫は1分間に100～120回の速いテンポで30回連続して行う。
※AEDは電源を入れれば音声ガイドが操作方法を指示しますので指示に従って落ち着いて対応して下さい。



ここがポイント！

人工呼吸は技術や意思がある場合のみで構いません。人工呼吸が難しい場合は胸骨圧迫を続けて下さい。小児は胸の厚さの約1/3が沈む程度に圧迫して下さい。高齢者などは胸骨が折れる場合がありますが、心肺蘇生の方が重要です！臆せず、そのまま胸骨圧迫を続けて下さい。心肺蘇生を中止するのは、あくまでも、普段通りの呼吸が戻った時になるので、それまでは続けて下さい。（協力者がいる場合は1～2分程度を目安に交代しながら）



バスの非常口からの脱出訓練・消火訓練も実施

非常時はまずは冷静な行動と、お客様を安全な場所に移動させる事が最優先である事を再確認しました。万が一の際は添乗員様や幹事様にもご協力を頂くようになりますので、宜しくお願い致します。



心肺停止後、1分経過するごとに救命率は7%から10%低下するとされており、また、心肺停止から8分経過すると救命率は20%まで低下しますが、心肺蘇生とAEDの効果が発揮されれば救命率が50%まで回復するとも言われております。弊社でも事務所と複数台のバスにAEDを設置しております。

＜編集・発行＞

福島観光自動車株式会社 本社

福島県郡山市横塚二丁目1番3号

TEL024-944-7311/FAX024-944-2564

E-mail : info@fukushimakanko.co.jp

ホームページ「福島観光自動車」で検索

